② 基礎自治体における
流域圏プランニングにもとづく、
自然共生集約都市の試み

岐阜県各務原市 :12年の歩み

高度経済成長期に名古屋大都市圏の郊外都市として急速に成長。その後、成長は、鈍化し、今日に至る。

昭和38年:6万人
平成元年:13万人
平成10年:13．5万人
平成21年:13．9万人+1万人(合併)

水と緑の回廊計画

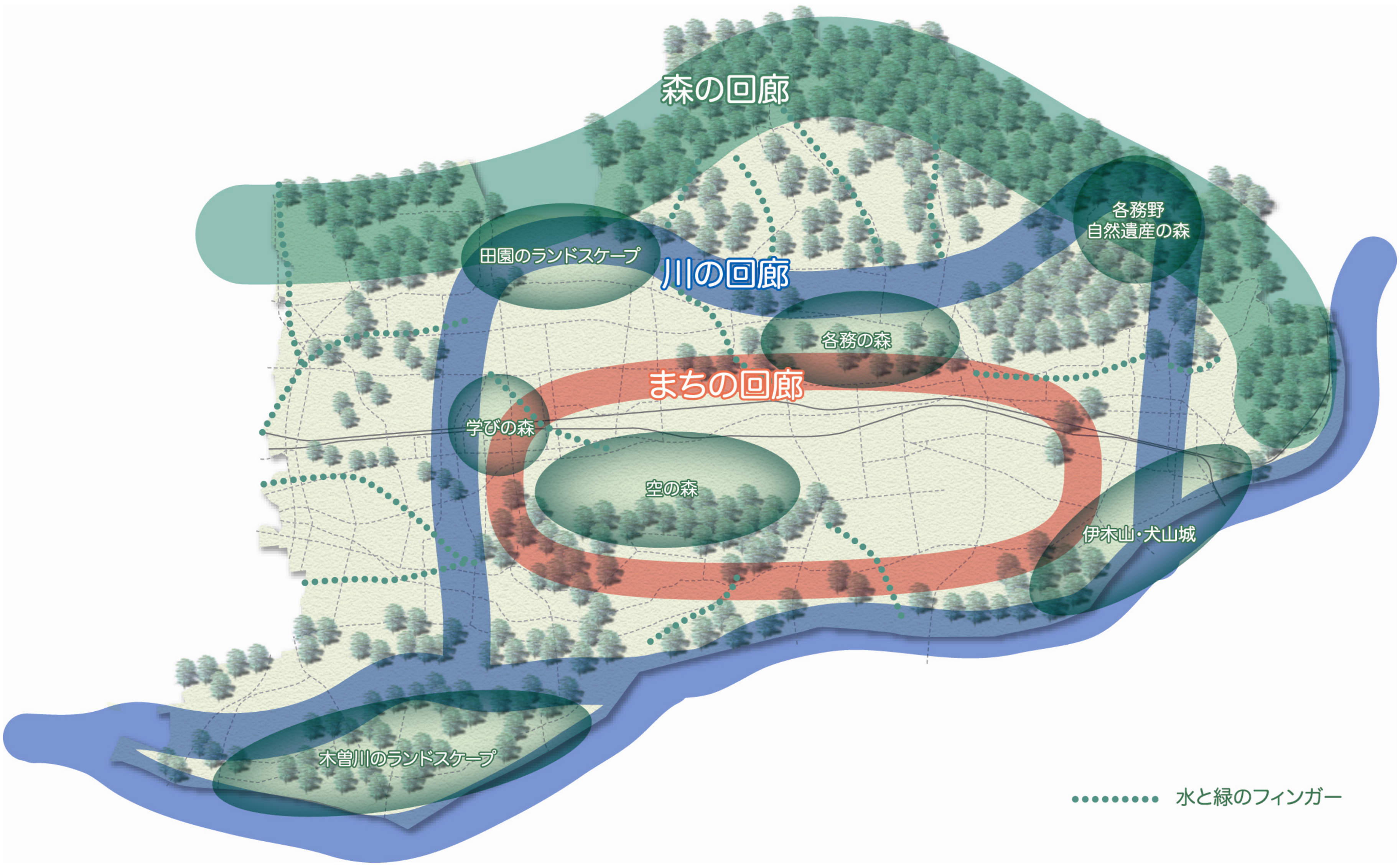
Green Corridor Plan

歩くことの楽しい安全で美しいまちへ
山と川の豊かな自然を暮らしの中へ
生命を育む共生都市へ

各務原市緑の基本計画

2000年策定、2006年改定

3つの回廊と7つの拠点概念図



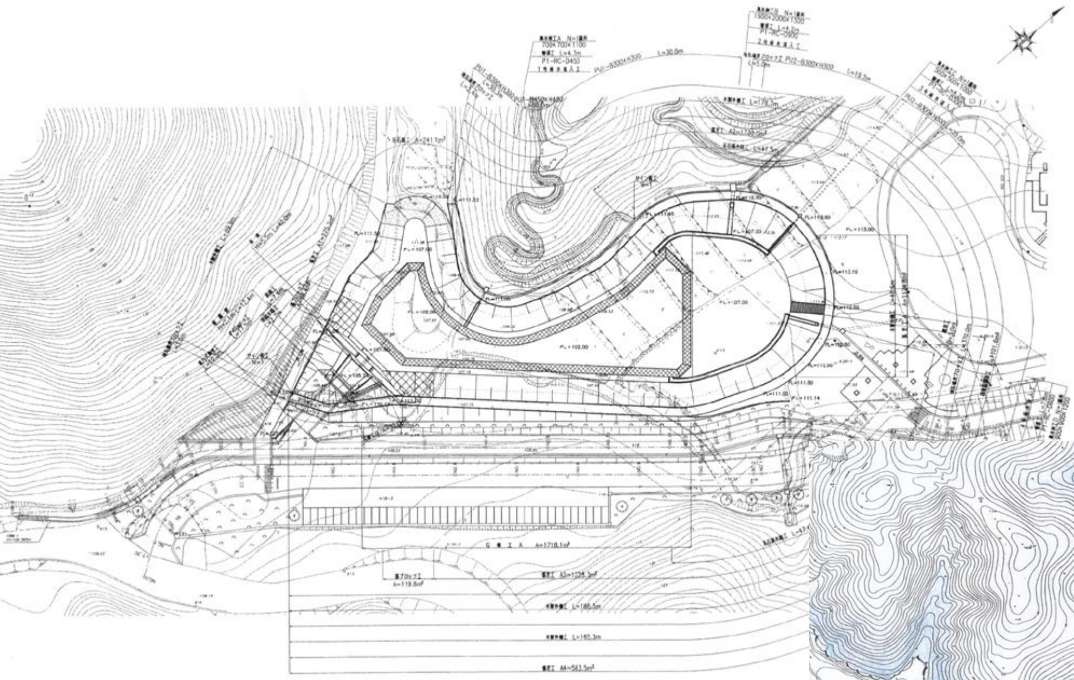
フリンジエリアの問題
高度経済成長期における里山の開発、不法投棄
見捨てられた身近な自然

フリンジエリア：自然遺産の森

- 見捨てられた里山。産業廃棄物建設用地。砂防ダムの建設。
- 人が行くことのない場は、作らないという決断。

- 少ない予算で、最大の効果をだす
- 市民が参加する場、多様な機会の創出
- 拠点としての塾
- コアとなるヴォランティアの育成

旧計画(Feb.2002)



見直された基本計画 (March.2002)

都市のコア

- 都心の空洞化
- 市のシンボルであった岐阜大学農学部の移転
- 老朽化した公共施設
- 基地の街であるが故の都心の魅力の欠如

整備前（空中写真）

まちのコアの事例：その２

河跡公園

見捨てられ、荒廃していた
河の跡の価値の再発掘とまちづくりへの活用

河跡湖公園

本日の予定
昔のおもかげ
残したい樹木
水質の改善
害のある生物をへらそう
色んな生きものを増やそう
子供入るゾーン
森林の手入

緑の基本計画を梃子とする
都市計画の展開

①発想：プラス思考、負のストックと思われているものを都市の魅力に転換する

②仕組み

・理念

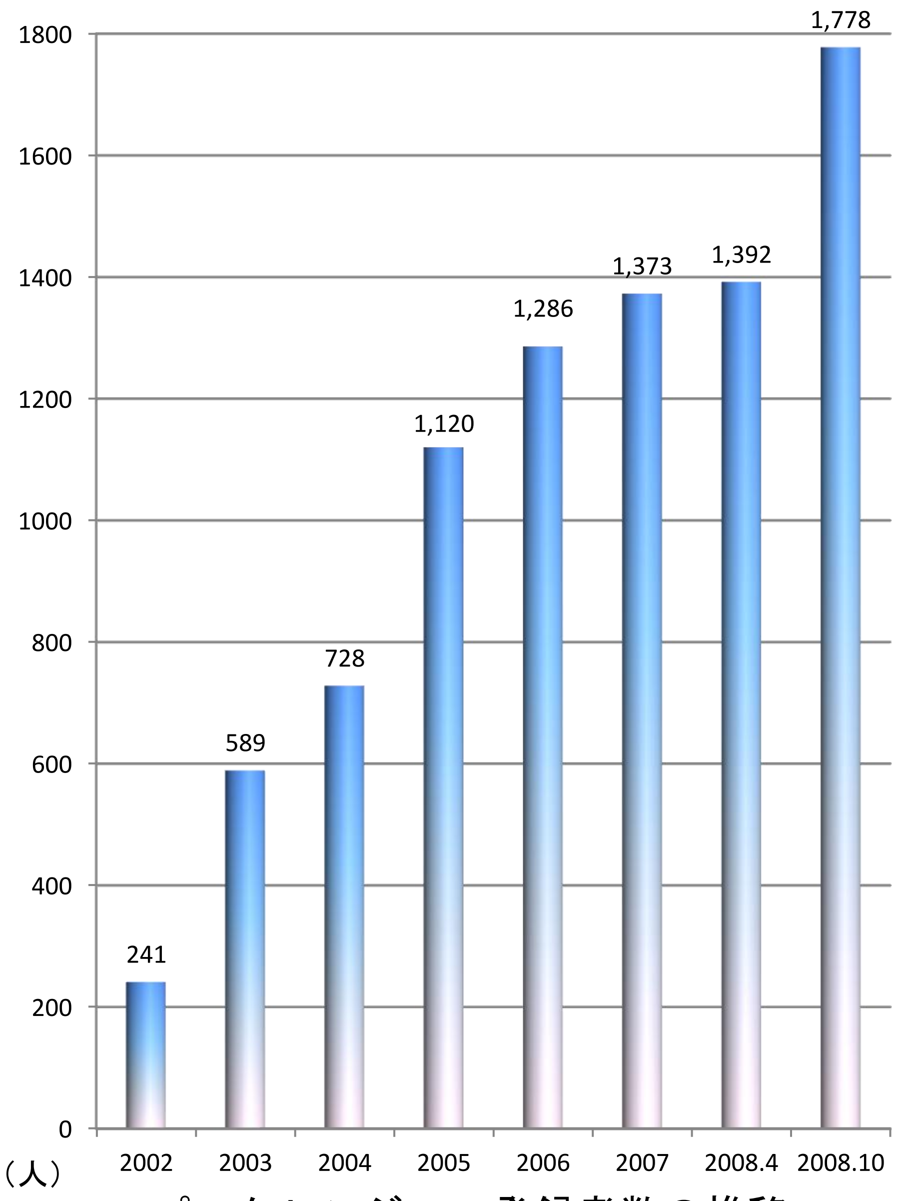
・方法論（緑の基本計画と市民参加）

・財源

・多様な主体（ステークホルダー）

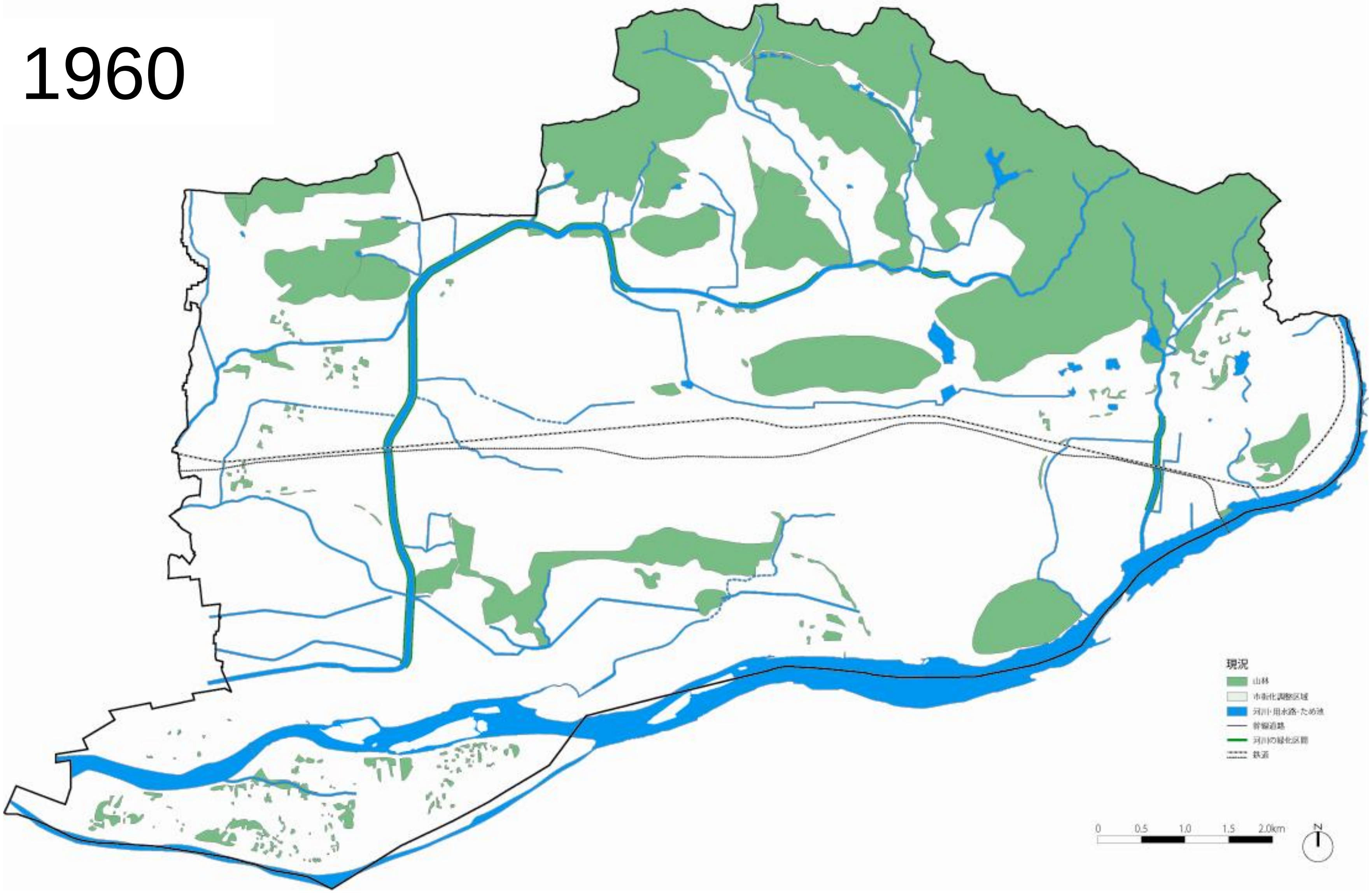
・中心市街地活性化の切り札としての公園整備

パークレンジャー制度（公園都市づくりにおける市民協働）



パークレンジャー登録者数の推移

1960



2011 年 パークレンジャー活動マップ